

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	常陸太田市立太田小学校 全児童 6学年14クラス 特支3クラス 児童421名 教職員25名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳・総合的な学習の時間) 2 行事名 () 3 その他 () (2) 地域における活動 1 イベント名 () 2 その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック競技について、理解を深める。 ・グローバルマナーとおもてなしの心を学ぶことで、自己を確立し、他者を受容して、積極的に交流を図ることができる。 ・礼節を重んじ、助け合って生活する心を醸成する。
5 取組内容	<p>日本航空元 CA、現筑波大学客員教授 江上いずみ先生をお招きしての「おもてなし講座」の実施</p> <p>(1) 期日 平成29年11月17日(金)</p> <p>(2) 場所 太田小学校体育館</p> <p>(3) 演題 「おもてなしの心」</p> <p>(4) 日程 9:10~ 9:15 開会行事(進行:児童) 9:15~10:15 おもてなし講座Ⅰ(1~3年) 10:30~12:00 おもてなし講座Ⅱ(4~6年) 12:00~12:10 閉会行事(進行:児童)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>相手を見てあいさつ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>握手でお別れ</p> </div> </div> <p><児童の感想から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、ドアのノックの数など、いろいろなことが分かった。これからの生活に役立てたい。

	<ul style="list-style-type: none"> • やっぱりあいさつは大切だと思った。 • 相手を見て、元気よく接することが大切だと思った。 <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会マスコット投票に参加</p> <p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> • マスコットを選ぶ活動を通して、東京オリンピック・パラリンピック大会への参加意識を啓発するとともに、関心を高める。 • 大会マスコットの役割について理解を深める。 <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> • オリンピック・パラリンピック大会について知る。 • 過去の大会マスコットについて理解を深める。 • マスコット候補案の紹介 • グループごとにディスカッション <ul style="list-style-type: none"> 5～6人でグループになりマスコットを選ぶ 「私は〇番目、理由は〇〇だから」 • 各グループのマスコットを推薦する。 • 各グループの発表を受け、クラスとしてのマスコットを一つ選定する。 <p><グループの発表から></p> <ul style="list-style-type: none"> • 候補「イ」です。 <ul style="list-style-type: none"> 選んだ理由は、日本のお祭りならではの熱気を伝え、炎の尻尾で人々に元気を与える。外国の方々にも力を与えるし、2人は親友でありよきライバルだからこそ、本気で頑張れると思えるマスコットだと思うから。 • 候補「ウ」です。 <ul style="list-style-type: none"> 日本にいる昔からの動物なので、外国の方々や選手が興味をもってくれる。日本伝統の文化が、いろいろな国に伝わると思う。
6 主な成果	<p>江上先生の講演後の児童の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童が職員室に入室する際に、ドアをノックするマナーを意識している姿が多く見られた。 • あいさつをする際に、相手の目をよく見て行う児童が増えた。 • 分離礼（あいさつの後に礼をする）を心がける児童が増えた。クラスでも実行するなど、全校に広がった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> • おもてなし講座を、低高2ブロックに分け、全校児童が講演会に参加できるように時間設定をした。講演内容も、学年にあった内容で依頼し、実施することができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 特になし
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、あいさつ等のコミュニケーションスキルの向上を図る。